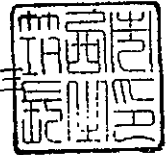




筑 土 木 第 64 号
平成20年10月 9日

国土交通省道路局長 様

筑西市長 富 山 省 主



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼がありましたこのことについて、下記様式により提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

記

- 様式① ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
- 様式② ②－1 地域の現状と抱える課題
- 様式③ ②－2 地域の目指すべき将来像
- 様式④ ③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

茨城県筑西市

筑西市は、平成17年3月28日に旧下館市、旧真壁郡関城町、明野町、協和町の1市3町が合併した人口11万人余りの茨城県西部の中核都市であります。街づくりにあたって、恵まれた自然環境や誇るべき歴史・伝統・文化的財産など本市の持つポテンシャルを十分に活かすことが、今後の本市の発展には欠かせないことであると考えております。それには、県西地域と県央地域を結ぶとともに、北関東自動車道とも連絡する極めて大きな役割を担う筑西幹線道路の全線供用が早急に求められております。このため本市では、筑西幹線道路の一部であります「都市計画道路一本松・茂田線」の道路改良事業を進めております。また筑西幹線道路を活用した「大学等誘致推進事業」や産業ロボット製造では、世界トップの水準を誇るファナックのつくば明野北部工業団地においての操業など新しい町づくりに努めているところです。

今後の道路整備に関しては、鉄道やバスなどの交通機関の廃止が進む地方の住民にとって自動車は必需の交通手段となっております。しかし地方の道路は、まだまだ未整備の道路が多く、幅員も十分でなく大型車や緊急車両の通行も困難な集落内の道路や、集落と集落を結ぶ道路が大雨のため冠水してしまうなど多くの課題を抱えております。市民が安全に安心して豊かに暮らすためには、交通渋滞の緩和、通学等生活道路の整備、バリアフリー等高齢者対策や災害対策、交通事故への対策などが求められております。

以上のことから

- 1.緊急輸送道路などの幹線道路の重点的な整備
- 2.生活道路については、日常生活における身近な道路のあり方（地方道路整備への予算配分）
- 3.今後の道路行政の進め方に関する住民理解と共感が得られる説明とスケジュールの指針
- 4.建設後50年以上経過した橋梁等が今後急増することから、適切な診断と修繕する施設の長寿命化を図る

などの面で改善、要望、提案と致します。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

茨城県筑西市

○現状

本市の道路体系は、東西に走る国道５０号、南北に走る国道２９４号の２路線を骨格とし、これらを補完する環状道路や放射道路として県道及び市道がネットワークを形成している状況で、都市計画道路については、延長Ｌ＝１２１.２７kmで改良率は４４.２７％、また生活道路については、延長Ｌ＝２,６３０kmで舗装率は６６.６２％となっていますが、市内の各拠点間を連結する道路や周辺市町へ連絡する道路の整備が遅れています。また、市街地内の道路は全般に幅員が狭く、屈曲部等通行不便箇所も多いことから、緊急車両の通行や歩行者、自転車の安全に配慮されていない状況であります。さらに国道５０号については、門井地内、玉戸地内及び伊讃美地内において、慢性的な渋滞となっております。

○課題

筑西市の道路については、整備率が低い状況であり、中心市街地の活性化はもとより広域化する都市活動に伴い、増大する交通需要への対応を踏まえつつ国道５０号のバイパス整備、国道２９４号の４車線化、市街地環状線を形成する道路である一本松・茂田線やつくば方面へのアクセス道路である倉持東石田線の渋滞解消し、計画的な道路整備の推進。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

茨城県筑西市

筑西市は、豊かな自然環境、田園環境との調和を基本に、中心市街地への都市機能の集積による活力と魅力のある都市生活拠点の形成を図るとともに、地域の特性に合わせ、街並みや景観に配慮した整備と交通環境の整備については、国道５０号バイパスの整備や国道２９４号の４車化、主要地方道筑西つくば線バイパスなど広域交通の整備を促進するとともに、筑西幹線道路をはじめ交通渋滞を解消し、活発な社会活動の基盤となる幹線道路の計画的な整備を図る。また、市民の日常生活を支える身近な道路網の計画的な整備を図り、交通環境の維持等を計画的に進め、安全で快適な歩行者、自転車道の整備を推進する。

本市としましては「人と自然、安心して暮らせる、共生文化都市」を将来像に掲げているから、今後の道路整備につきましても誇りを持って、効率的、効果的な整備を図ってまいります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価費等）

茨城県筑西市

○重点事項 ・地域活力の向上	○代表事例 国道50号（筑西市久地楽地内～結城バイパスまでの延長13km区間について）	○期待する効果や評価等 筑西市内の国道50号の整備については、旧協和町地区に於いては、いまだに都市計画決定がされず、県道と交差する門井交差点附近では、近年交通量が著しく増大しており、渋滞の慢性化が激しく住民の生活や緊急を要する防災活動にも支障をきたしていることから、早期の都市計画決定及び事業化が強く望まれている状況であります。 また、下館バイパスと結城バイパス（江連用水路西側）については、当地の用地買収が昭和52年頃から入り、約30年が経過しているにもかかわらず、4分の4を買収しているが、4分の2の暫定供用となっており未着手部分と暫定供用している部分等があり、つぎはぎの状態で長期間にかかりすぎるとの住民不満の声が強くなっています。	○その他
		さらに、北関東自動車道の桜川インターチェンジの開設に伴い、さらに益々交通量が増大し渋滞が激しくなることが予想されますので、筑西市発展の基盤とも言える国道50号の全線の整備を強く要望致します。	